

持続可能な伊賀良の庄づくりプロジェクト 2024 の概要

1 事業概要

- (1) 事業主体 飯田市大瀬木 570 番地 1 / 伊賀良まちづくり協議会 会長 上沼 和則
- (2) 協力事業者 飯田市三日市場 1466 番地 1 / 株式会社リックス 代表取締役 熊谷 弘
- (3) 事業実施個所・名称 飯田市北方 3872 番地 1 / 飯田市立伊賀良小学校
飯田市大瀬木 570 番地 1 / 飯田市伊賀良公民館
- (4) 再エネ設備概要 伊賀良小学校 / 太陽光発電 / 設備容量 28.47kW / 年間発電量 31,317kWh/年
伊賀良公民館 / 太陽光発電 / 設備容量 21.17kW / 年間発電量 23,287kWh/年
- (5) 事業実施期間 系統連系日から令和 22 (2040) 年 3 月まで

2 事業スキーム



3 地域貢献寄付金の用途

伊賀良地域では、リニア中央新幹線の開通、飯田南バイパスの事業化など、大きく変化する地域環境を的確に捉え、以下の事業を実施します。

- (1) 住民による里山利用の拡充及び観光客への風光明媚な景色の提供による観光面での発展や交流人口の増加を目的とした里山の環境整備や案内板等の設備拡充を推進すること。
- (2) お互いが支え合う地域づくりへの「心のよりどころ、一体感」の醸成を目的とした小学生や地域住民による伊賀良の花の植栽を推進すること。
- (3) 地域住民の環境意識の向上に資する取組を推進すること。

4 本事業による想定される効果

- (1) 里山の環境整備や案内板等の設備拡充を契機に、以前のような住民による里山利用の拡充が期待されるとともに、観光客にも風景を楽しんでもらうことで、観光面での発展や交流人口の増加などが期待される。
- (2) 小学生が伊賀良の花の植栽を行い、植物を育てることで命の大切さを学ぶことを通じ、地域に興味を持ち愛着心を醸成していくことが期待される。また、地域の若者が事業に参画することにより、長期にわたる効果的な事業展開が期待される。
- (3) 地域住民が協働して伊賀良の花を地域に広めていくことを通じて、多様化する価値観や社会情勢の変化の中で、お互いが支え合う地域づくりへの「心のよりどころ、一体感」の醸成が期待できる。
- (4) 自立電源の確保により、地区内の防災拠点機能が向上し、住民の安全安心の確保の一助が期待できる。
- (5) 地域住民や小学生らに自然エネルギーに対する学習機会の提供と環境意識の向上が期待される。